

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FHD

ミニディスクロージャー誌 2021年3月期 2020年4月1日～2021年3月31日



©GROOVISIONS

新社長トップインタビュー

ヒューマンタッチと デジタルのベストミックスで 総合力No.1の金融グループへ

日田市豆田町／御幸通り



西日本フィナンシャルホールディングス 取締役社長
(西日本シティ銀行 取締役頭取)

村上 英之

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

6月29日付で、西日本フィナンシャルホールディングス取締役社長ならびに西日本シティ銀行取締役頭取に就任いたしました。中期経営計画「飛翔2023～地域の元気を創造する～」の下、お客さまや地域へのさまざまな貢献とグループ企業価値の最大化を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症は世界に大きな影響を与えました。西日本FHグループは地元・九州を中心に、打撃を受けた企業・事業者さまの支援に全力を注ぎました。西日本シティ銀行がご融資した新型コロナ関連融資の件数と金額は、全国の銀行でトップクラスとなりました。これからもグループを挙げて、地域経済を力強く支えてまいります。

コロナ禍は、デジタル化や働き方改革を促しました。加えてSDGs(持続可能な開発目標)や、環境・社会などに配慮したESG投資への関心が急速に高まっています。こうした変化の潮流は、今後さらに加速すると認識しております。西日本FHグループは、自ら変化への適応に取り組み続けるとともに、お客さま起点の“One to Oneソリューション”をヒューマンタッチとデジタルの両面で提供し、地域社会とお客さまの発展に貢献してまいります。

一高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ。変わらぬゴールを目指して、アクセルを踏み、スピードを上げていく所存ですので、皆さまにはどうか、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年7月

3 新社長トップインタビュー

ヒューマンタッチと デジタルのベストミックスで 総合力No.1の金融グループへ

7 特集

日本を変えた傑物たち 日田偉人伝

- 11 地域の発展をリードするグループ総合力の発揮
- 13 お客さま起点の
“One to Oneソリューション”の提供
- 15 「オーダーメイド」の金融サービス
ファンドラップ
- 17 地域の魅力向上に向けた取組み
- 19 ESG/SDGsへの取組み
- 22 安心に向けた取組み
- 23 業績ハイライト
- 25 プロフィール・ネットワーク・株式のご案内



地域の“元気”を応援するTV番組を福岡・長崎地区でお届けしています



ミライへの1minute

自身が信じる芸術の道に情熱を注ぐ「若きアーティスト」たちの活動を、1分間のパフォーマンスとともに紹介しています(2021年3月末までに福岡25回、長崎24回放送)。

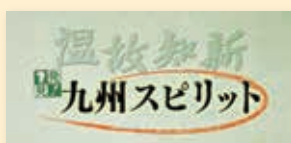
[福岡地区] 毎週日曜日 17時25分～17時30分 TNCテレビ西日本にて放送中
[長崎地区] 毎週土曜日 16時25分～16時30分 KTNテレビ長崎にて放送中



志・情熱企業

特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています(2021年3月末までに福岡650回、長崎74回放送)。

[福岡地区] 毎週土曜日 18時50分～18時55分 RKB毎日放送にて放送中
[長崎地区] 毎週日曜日 22時54分～22時59分 NBC長崎放送にて放送中



温故知新 「発見!九州スピリット」

進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどを取り上げ、幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています(2021年3月末までに338回放送)。

毎週土曜日 23時10分～23時15分
KBC九州朝日放送にて放送中



まちが★スキー

「地域の元気を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています(2021年3月末までに福岡156回、長崎105回放送)。

[福岡地区] 毎週土曜日 9時25分～9時30分 FBS福岡放送にて放送中
[長崎地区] 毎週金曜日 22時54分～23時00分 NIB長崎国際テレビにて放送中

ヒューマンタッチとデジタルのベストミックスで 総合力No.1の金融グループへ

西日本フィナンシャルホールディングス
取締役社長

村上 英之



Top Interview

6月29日付で、就任した西日本フィナンシャルホールディングス村上社長(西日本シティ銀行頭取)に、トップとしての意気込み、今後の経営戦略についての考え方を聞きました。

新型コロナウイルスで地域経済は大きな打撃を受けました。その中で、西日本シティ銀行が実行した新型コロナウイルス関連融資は件数、金額とも全国の金融機関で1位、2位を争う多さでした。

新型コロナウイルス関連融資では、資金繰りなど取引先支援に全社一丸となって取り組みました。多くのお客さまに融資ができたということは、地域から頼りにしていただいた証です。同時に中小企業育成や個人に強い銀行という、われわれのDNA、顧客基盤を再確認しました。若い行員も、地域のために働くという、地方銀行の社会的意義を認識してくれたことだろうと思います。

ワクチン接種が進み、やがて日本経済もコロナ禍前の水準に戻るでしょう。しかし、「K字回復」と言われるように、企業業績は二極化しています。ここから先は資金繰りだけでなく、それぞれの状況に応じた支援が求められています。

好調な企業には、設備投資用の融

資や、M&Aなどのソリューション分野でお手伝いします。

コロナ禍で苦しい企業にも、時間がたてば回復しそうな企業と、業態や業務を抜本的に転換しなければならぬ企業があります。前者には回復期までの資金繰りを、後者には経営改善策を提案し、支援していくことが求められるでしょう。

中期経営計画「飛翔2023」地域の元気を創造する」の2年目に入りました。現在までの進捗具合や、今後の方針はいかがでしょうか。

中期経営計画の1年目は、順調にスタートが切れたと考えています。特に業務革新は、大きな実を結びつつあります。恒常的な経費削減にとどまらず、仕事のやり方や会社の風土にまで良い影響を及ぼしています。データを緻密に分析し、それに基づいた対応策や企画案が目に見えて増えてきました。

業務革新を進めるに当たっては、現場の声を聴くことを意識しまし

中期経営計画

基本戦略	1. 地域の発展をリードするグループ総合力の発揮	地域経済の活性化
重点施策	(1)地域の産業・雇用の創出に向けた創業支援 (2)地域開発における主導的役割の発揮 (3)地域の課題解決に向けたサポート体制の構築 (4)地域の魅力向上に向けた社会貢献活動	
基本戦略	2. お客さま起点の "OnetoOneソリューション" の提供	お客さま満足度の向上
重点施策	(1)お客さま起点のソリューション提供に向けた態勢構築 (2)企業へのソリューション提供 (3)個人のお客さまへのソリューション提供	
基本戦略	3. 持続的な成長に向けたリソース革新	強固な経営基盤
重点施策	(1)業務革新の加速 (2)戦略的なリソースの再配置 (3)有価証券運用力の強化 (4)将来を見据えた戦略的投資の強化 (5)チャレンジする人財の育成と企業風土の改革	



た。お客さまと直接向き合っている現場が何を考え、どんな課題があるのかを拾い集めて改革に生かすようにしています。その結果、本部と支店の意思疎通が相当良くなったと感じています。

中計2年目は、この変革へのムーブメントを一段と深化させ、スピードアップに努めていきます。大きな柱の二つが、デジタル化の進展だと捉えています。

デジタル化の進展を どう具体的に進めますか。

これまで社内外の業務の合理化や、お客さまと銀行をつなぐツールのデジタル化を中心に進めてきました。足もとでは、「印鑑も伝票も使用しないスマートな営業店づくり」を目指して、外部企業と検討を始めました。5年後には8割の事務手続きがデジタル化されることになるでしょう。お客さま向けに、スタート

アップ企業も含めた多様な企業と連携し、業界トップレベルのデジタルサービスを提供し続けます。

今後、私たちが追求するのは、真のデジタルトランスフォーメーション（DX）です。少し抽象的ですが、デジタル化によって得られたデータを分析・活用して、新たなビジネス領域やビジネスモデルを作り上げることだと考えています。銀行単独で新たなビジネスを作るといっても、外部と連携してDXに取り組んでいきます。さらには、お客さま、取引先に成長に向けたDXを提案できるように進化したい。デジタル化やDXの深掘りに、これまで以上に人材と資金を投じて、積極的に取り組みます。

ただ、西日本FHグループの究極の強みがデジタルかという点、そうではないでしょう。デジタルはもちろん必要です。しかし、私たちの強みは、突き詰めれば「ヒューマンタッチ」です。

コロナ禍の当初、行員は感染への不安を抱きながらも、休日返上で取引先支援にあたりました。困っているお客さまのために、一刻でも早く融資できるように頑張った。この頑張りには、ヒューマンタッチの二つの形でしょう。

マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏はかつて、「Banking is necessary, but banks are not」金融機能は必要だが、銀行は必要ではない」と言いました。私は「口

ナ禍での行員の奮闘を見ました。日米の資本市場、金融システムの構造の違いはあるでしょうが、「銀行が不要なんてことはありませんよ」と反論したい。地域に根を下ろし、地域とともに発展する総合力No.1の金融グループ。それが私たちの目標であり、その実現にヒューマンタッチは欠かせないので。

デジタルとヒューマンタッチのバستمックス。その具休像を求めて、試行錯誤を続けていきます。

国連が掲げたSDGs（持続可能な開発目標）とESGへの取り組みが企業経営に求められています。

SDGsは国際社会共通の目標ですが、私たち地域金融機関が担うべき役割としては、地域課題の解決に向けた積極的な取り組みを通じて、地域の発展に貢献することであるといえるでしょう。

私たちは以前から、創業支援をはじめとする地元企業・産業の育成・支援や多種多様な地域貢献活動に積極的に取り組んできました。こうした活動をSDGsという観点から整理し、改善を加えながら継続していきます。グループの旗振り役として、2020年4月には西日本FHに「SDGs推進室」を設けました。

具体的には今年3月に、取引先のSDGsへの取組みを後押しする

「SDGs事業アイデア発想塾」を始め、4月には「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言」への賛同表明を行いました。

また、「環境」、「社会」、「ガバナンス」の点から企業経営を分析するESGへの関心も高まっています。西日本シティ銀行はすでに、取引先企業の事業性評価のヒアリングシートに、ESGに関する項目を設けました。

こうした国際的な潮流の中で、最も重要となっているのは、二酸化炭素など温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル実現への挑戦でしょう。私たちもこの動きに加わっていきます。

企業にとつてのカーボンニュートラルには、2つの側面があると言われています。一つは自社の温室効果ガスの排出量を減らすという、いわば「守り」の側面。もう一つの側面は「攻め」、すなわち脱炭素化への移行（トランジション）をはじめとする成長戦略としての側面です。今後、世界中でカーボンニュートラル実現へ、莫大な投資が発生していきます。「約束された市場」とも表現されますが、大きなビジネスチャンスです。

私たちはこの攻めと守りの両面で、取引先を支援します。例えば、温室効果ガスの排出量削減のために太陽光発電や建物のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化等の設備投

Top Interview



1988年9月
オプション理論の研修/シカゴにて

資に取り組む企業に融資やコンサルティングサービスを提供する。また、行政が講じるさまざまな補助策や助成金を、取引先企業が活用できるように後押しする。地方創生やスタートアップ企業育成を一体的に捉える必要もあるでしょう。現在、取引先企業のSDGsへの取組みと借入条件が連動するようなローン商品の開発も検討しているところです。

村上社長のルーツについて、聞かせてください。

高校まで大分県日田市で育ちました。日田といっても、田舎暮らしが多く、山や川で遊びまわる子供時代でした。というのも父が水力発電所の技術者だったからです。水力発電所は基本的に山の中にしかありません。最初に通った大山町立松原小学校は、ダムの底に沈みました。

両親の教育方針は「超」が付く放

任主義で、「勉強しろ」と言われたことはほとんどありません。塾も行っていません。ただ2歳上の姉の影響で、読書は好きでした。誕生日やクリスマスプレゼントはすべて本です。ありがたいことに、文学全集や百科事典も買ってもらいました。

そんな放任主義の両親ですが、手抜きや愚痴、他人批判など、道義にもとる行為をすると、こつこつと叱られました。今思えば、ありがたい躰でした。

大学は九州大学経済学部です。もともと「弁護士になりたいな」と思っていたのですが、法律の専門家だった親戚から、「弁護士になるにはコツコツまじめに勉強しなきゃいけない。性格的に向いてないと思う」と言われて、路線変更しました。

高校、大学時代は、映画「アメリカン・グラフィティ」に描かれたような大らかな7年間を過ごしました。福岡市内の親不孝通りの店に集まったり、波のない福岡の海でサーフィンをしたり…。よい先生や友人に恵まれ楽しい思い出ばかりです。

卒業後は東京で就職する気でした。同級生も皆、東京に行くというところ。ところが、「母の体調が悪い。地元に来てくれないか」と懇願されたのです。東京行きをあきらめ、当時の西日本相互銀行に入行しました。

その後、母はすっかり復調しました。あまりの元気ぶりに「もしや、だ

まされたかな？」と思うこともあり。ありがたいことに父母は、今も元気にしています。

銀行員になって、良かったと思うことは何でしょうか。

どんな仕事にも、社会的使命や意義があります。企業理念と言い換えることもできます。銀行、なかでも地方銀行は、この理念と実際の仕事が非常に近いと思います。

自分が融資をした企業が、大きく成長する。あるいは融資によって街の開発が進み、より活気のある街に発展していく。仕事の成果を、わが街で、わが目で見ることができるので、本当にありがたい職業だと実感しています。

私を含む世代は、バブル経済の形成から崩壊、そして長い苦難の時代を銀行員として過ごしました。その体験を通じて、「われわれ地銀が今日もあるのは、地域のお客さま、地域社会のおかげだ」という認識を心に刻んだのです。

苦労して大きな壁を乗り越える

ことで、仕事の本当の楽しさ、達成感を得ることができる。若い

行員や社員にも、そんな経験や気持ち共有してもらいたい。

そうして人間的に成長し、次代の

西日本フィナンシャルホールディング

スを担ってほしい。その土台造りが私に課せられた仕事だと思っています。

村上 英之 (むらかみ・ひでゆき) Profile

1961年3月14日、大分県生まれ。

大分県立日田高校、九州大学経済学部卒業。1983年に西日本相互銀行（現西日本シティ銀行）に入行。常務執行役員総合企画部長、取締役専務執行役員、西日本フィナンシャルホールディングスの取締役執行役員などを歴任。2021年6月から現職。趣味は読書、ゴルフ、美術鑑賞。読書はカズオ・イシグロ氏や原田マハ氏らの作品を愛読。理髪とゴルフ以外は、時間が合う限り常に妻と一緒に行動する。

日本を変えた傑物たち

日田偉人伝

古くから九州の交通の要衝として

重要な役割を果たしてきた大分県の日田。

江戸時代には幕府の直轄地・天領として栄え、

有形無形の優れた文物の数々を生み出しました。

そんな日田が生んだ廣瀬淡窓、川路聖謨は

日本の歴史を大きく変えました。

情緒あふれる町をめぐりながら、2人の偉人の足跡をたどります。



国指定史跡となっている咸宜園跡

多くの優れた人材を
育てた「敬天思想」

江戸時代を代表する儒学者であり、教育者、漢詩人である廣瀬淡窓は、1782(天明2)年、日田・豆田町の豪商「博多屋廣瀬家」の長男として生まれました。

幼少の頃から漢学や漢詩を学んだ淡窓は、24歳の若さで私塾を開講し、1817(文化14)年には現在の場所に「咸宜園」を開きます。

近世日本最大規模の私塾を率いた教育者



咸宜園の教育は当時としては画期的なものでした。身分制度が厳しい江戸時代にあつて学歴・年齢・身分を問わず門下生を受け入れ、毎月実施する試験で個々の能力を評価する実力主義を導入し、全国にその名を轟かせたのです。

淡窓は儒学者でありながら、特定の思想に偏ることなく、さまざまな学説を尊重する人でもありました。そうした思索の中から生まれたのが、「敬天思想」です。人間は善いことをすれば天から報われるという考え方で、政治経済、医学界など多岐にわたる分野で活躍する人材を輩出しました。

教育遺産群として 世界遺産登録へ

全国から塾生が集まるようになると、豆田町の町民たちは住居や今でいうアルバイトの世話をするなど町ぐるみで支援を行いました。



敬天
人、天を
敬うことを知れば、
則ち、
善は勉めずして成り、
悪は禁ぜずして去る

そうした地域の人々の協力を得て咸宜園は発展を遂げていきます。淡窓が世を去った後も運営が継続され、1897(明治30)年の閉塾までに入門者が5000人を超える、日本最大級の私塾となりました。

咸宜園をはじめとした豆田町などの教育遺産群は、2015(平成27)年度に日本遺産に認定。さらに現在は、茨城県水戸市の「弘道館」などとともに「近世日本の教育遺産群」として、世界文化遺産登録をめざしています。



淡窓の教えを次世代に伝える咸宜園教育研究センター



淡窓が初めて塾を開いた長福寺(国指定重要文化財)



廣瀬資料館では、廣瀬家の貴重な資料を展示



聖謨の生誕地にほど近い花月川を彩る「千年あかり」

一官吏から勘定奉行へ 上り詰めた才気の人

今期のNHK大河ドラマ『青天を衝け』でも話題を集めた川路聖謨。日田代官所の手代・内藤吉兵衛の次男として産声をあげたのは、1801（享和元）年のことでした。

吉兵衛は下級役人でしたが、聖謨が4歳のときに江戸へ転居し、聖謨は12歳で下級幕臣の川路三左衛門の養子となります。

外交交渉で活躍した江戸期最高の名官僚

川路

Toshiakira Kawai

聖謨

勤勉で剣の腕も立った聖謨は18歳で勘定所に出仕して以降、みるみる頭角を現し、35歳で勘定吟味役に大抜擢。52歳で勘定奉行兼海防掛という重職に就く出世を遂げました。家柄や血統ではなく、才気と努力と人格で高い地位へと上り詰めた、まさに「叩き上げ」の官僚でした。

類いまれな交渉術で 日露和親条約調印へ

川路聖謨がその名を歴史に刻んだのは、1852（嘉永6）年から始まった日露和親条約へ向けての交渉でした。ロシア使節プチャーチンと長崎で交渉し、伊豆下田で調印に成功したのです。

川路の交渉術は見事で、「ヨーロッパでも珍しいほどのウィットと知性を備えた人物」とプチャーチンに言われたほどでした。



日田代官の居城となった永山城の石垣



聖謨の生家に近いと思われる永山布政所（代官所）跡

1868（明治元）年、江戸幕府が倒れると、聖謨はそれに殉じて自決します。享年68。作家の司馬遼太郎は聖謨を「性行、進退ともども、すがすがしい

印象を後世に与えている」と述べ、無欲でかつ異数の業績を残した「幕末の名官僚」と讃えています。

じつは聖謨は、ロシア使節との交渉の帰路、73歳の淡窓に肥前田代（佐賀県鳥栖市）で会見しています。日田の誇る2人の偉人が語り合った日本の未来は、果たしてどんな姿だったのでしょうか。

聖謨の人柄が偲ばれる 「川路桜」物語

1846（弘化3）年、水野忠邦らの失脚に伴い事実上の左遷として奈良奉行に着任した川路聖謨は、民政へ意欲的に取り組みます。その一つが佐保川沿いへの桜の植樹でした。

聖謨はその後、幕府の要職に返り咲き奈良奉行を退任しますが、別れを惜しんだ地元民がこの桜を「川路桜」と名付け、桜の名所として守り継いでいます。





祭

日田祇園祭

(国指定重要無形民俗文化財)

約300年の伝統を誇る日田の夏の伝統行事。毎年7月20日過ぎの土・日の2日間、10m級の山鉾をはじめとした優雅な9基の山鉾がまちを練り歩きます。全国18都道府県33件の祭りて構成する「山・鉾・屋台行事」として、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。

天領日田おひなまつり

天領時代、掛屋を中心とした豪商が集めた豪華絢爛なひな人形やひな道具がひなまつり期間中、国指定重要文化財の草野本家をはじめ、豆田・隈町かいわいの旧家や資料館で一斉展示され多くの観光客で賑わいます。



日田川開き観光祭

毎年5月20日の鮎漁解禁と共に開催される水郷・日田に夏の訪れを告げる一大イベント。2日間で約1万発の花火が夜空を彩り、さまざまな催しや市民参加のパレードなどでまち全体が盛り上がります。



おんたやき 小鹿田焼

(国指定重要無形文化財)

約300年前に開窯し、一子相伝で継承される伝統的な民陶です。飛び鉾や刷毛目といわれる技法で知られ、昔ながらの唐臼を使い作陶されています。日田市内の小鹿田焼陶芸館でもその歴史を知ることができます。



※各施設の営業状況やまつりの開催状況については、日田市のホームページなどでご確認ください。



23代目当主の原 次郎左衛門氏の貴重なラムネ瓶のコレクション



原 次郎左衛門の「鮎魚醤」

日田の味で注目を集めているのが創業120年余を誇る老舗、原 次郎左衛門の「鮎魚醤」。鮎と塩だけでつくった発酵調味料で、その深い旨みはイタリアの高級魚醤「コラトゥーラ」をしのぐと絶賛されるほど。パリの三つ星レストランをはじめ国内外の一流シェフがこぞって愛用することでも知られています。

◎原 次郎左衛門味噌醤油蔵

TEL 0973-23-4145 <http://www.soyssauce.co.jp>



天領・日田のまち歩き

「山あいに思いがけない都あり」と、多くの文人から愛された日田。なかでも天領時代の面影を色濃く残す豆田町と隈町は、そぞろ歩きにぴったりのまち。偉人たちの足跡をたどりながら、情緒あふれる旅を楽しんでみませんか。

今も暮らしの中に生きる

技

日田下駄

林業が盛んなことから天保年間に始まった日田の下駄づくり。最近では、現代のセンスを取り入れたモダンな下駄も作られ、ファンを増やしています。



パリの三つ星シェフも絶賛!

味

おすすめグルメスポット すてーき茶寮「和くら」

大正6年築の土蔵を店舗にした鉄板焼きステーキのお店。厚さ30mmの鉄板で焼かれる豊後牛の味わいは、多くの食通を魅了してやみません。TEL 0973-24-2728

<https://www.wakura.com>



蕎麦処「草八」 日田本店

産地直送の「玄そば」を自社製粉し、打ち立ての香り豊かなそばを提供しています。一品料理や名酒の品揃えも豊富で、「そば屋で一杯」の粋な楽しみ方も満喫できます。TEL 0973-24-6337

<http://www.souhachi.info/index.html>



鵜飼い

今から約400年前、豊田秀吉の家臣が岐阜から鵜匠を招き三隈川で鵜飼いをさせたのが始まりという伝説があります。天領の時代には、屋形船で鵜飼いを楽しむ川遊びが流行し、日田の夏の風物詩として定着しました。



地域の発展をリードするグループ総合力の発揮

西日本FHグループは、積極的な創業支援を行うとともに、各種機関・企業と協働して地域の課題解決を「まるごとサポート」し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

西日本FH

「西日本FHビジネスコンテスト2020」 「OPEN INNOVATION HUB」を開催

西日本FHは、2021年3月10日に、「西日本FHビジネスコンテスト2020」OPEN INNOVATION HUB」の最終選考会を開催しました。当日は68社の応募の中から1次・2次選考を勝ち抜いた10社がプレゼンテーションをし、最優秀賞は、スマホで食事を予約できる高校生給食サービスを運営する株式会社はたなか※、優秀賞は最新技術を用いた本人認証サービスを提供する株式会社AnchorZ、また、企業賞としてキャンパス女子株式会社など9社を表彰しました。

※現在、新会社である株式会社PECCOFFREEを設立し、同サービスを運営しています。



最優秀賞

株式会社はたなか

優秀賞

株式会社AnchorZ

企業賞	受賞企業
RKB賞	RKB毎日放送株式会社 様
エフエム福岡賞	株式会社エフエム福岡 様
QTnet賞	株式会社QTnet 様
シティアスコム賞	株式会社シティアスコム 様
凸版印刷賞	凸版印刷株式会社 様
GarrawayF賞	トヨタ自動車九州株式会社 様
福岡地所賞	福岡地所株式会社 様
ワールドホールディングス賞	株式会社ワールドホールディングス 様
三谷産業賞	三谷産業株式会社 様
	株式会社はたなか
	キャンパス女子株式会社
	株式会社AnchorZ
	株式会社AnchorZ
	株式会社mobby ride
	キッズシーズ株式会社
	株式会社BrainCat
	株式会社Regnio
	株式会社AnchorZ

「QB第二号ファンド」を設立

西日本シティ銀行は、2021年4月30日、大学発ベンチャー企業を支援するQB第二号ファンド（以下「1号ファンド」の後継となる「QB第二号投資事業有限責任組合（以下「QB第二号ファンド」）を設立しました。

QB第二号ファンドは、1号ファンドの運営会社であるQBキャピタル合同会社に加え、新たに株式会社NCBベンチャーキャピタルが共同で運営し、九州エリア外へも投資対象を拡大します。

当行は、今後、本ファンドを通じて、大学発ベンチャー企業の支援を積極的に行い、地域産業の発展や雇用の創出に貢献してまいります。

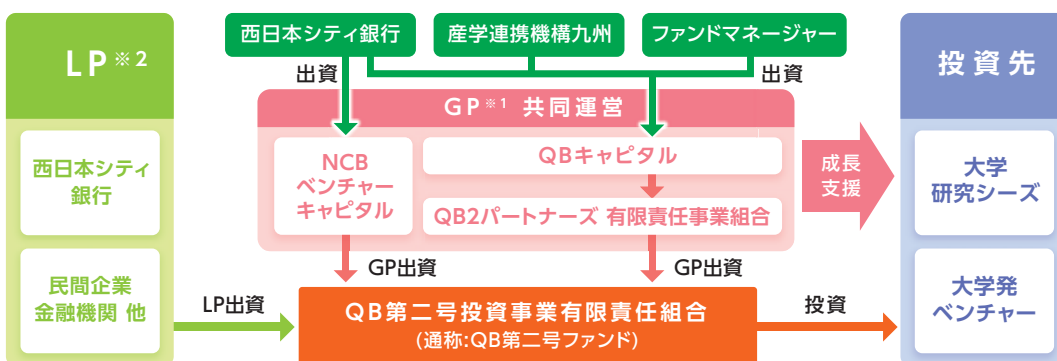
ファンド総額

約31億円
(1次募集時点)

存続期間

10年

●ファンドスキーム図



※1:GP(General Partner):ファンドの運用主体となる無限責任組合員 ※2:LP(Limited Partner):ファンドの出資者となる有限責任組合員



「お客さまのデジタル化支援」 デジタルソリューション チームを新設

西日本シティ銀行は、2020年10月、法人のお客さまのデジタル化を支援する「デジタルソリューションチーム」を新設しました。

デジタルソリューションチームは、お客さまの事業内容を深く理解する銀行員と、株式会社シティアスコム（株）の社員など豊富な知見を持つ「専門人材」が「ペア体制」となり、中立的な立場で最適な多様なソリューションをご提案します。

複数社のソリューションの中から
お客さまに最適なものをご提案

Web会議	テレワーク
経費精算	RPA導入
IT人材	販売管理
ECサイト制作	名刺情報管理

「九州の金融機関で初めて」 法人版プラットフォーム 「NCBビジネスステーション」の サービス開始

西日本シティ銀行は、2020年12月21日、九州の金融機関で初めて、法人版プラットフォーム「NCBビジネスステーション」のサービスを開始し、好評をいただいております。預金残高や入出金明細などの照会サービスから開始しました。今後、グループ企業やパートナー企業とのサービス連携を強化しながら、オンライン融資などの機能を充実させ、法人のお客さまのインターネット上の「大規模店舗」としてサービスを充実してまいります。



残高・明細照会が
24時間可能

来店不要！
お申込みはWebで完結

利用料は無料

安心安全のセキュリティ

「西日本シティ銀行×九州大学」 九州大学の知的財産で事業支援を開始

西日本シティ銀行は、2021年2月1日、「西日本FHBig Advance」のオープンイノベーションのパートナーに九州大学を迎え、同学が有する知的財産と地域企業を結びつけ、新規事業の開発などに活かす事業支援を開始しました。Big Advance内のオープンイノベーションサービスには、数百家の大手企業がパートナー企業として参加しています。Big Advanceの会員企業の技術・アイデアとパートナー企業の技術・リソースを組み合わせることで、これまでにない新たなサービス・製品の創出ができます。

なお、「西日本FHBig Advance」を活用した大学と地域企業のマッチングは九州初の取り組みです。



参考:Big Advanceについて

Big Advance とは、ビジネスマッチングや福利厚生サービスなど、企業が抱えるさまざまな経営課題にワンストップでお応えする「地域企業の成長支援プラットフォーム」のwebサービスです。なお、長崎銀行でも2021年2月から「長崎 Big Advance」の名称でサービスを開始しました。



西日本シティ銀行

九州の金融機関で初めて

『LINE』によるカードローン受付サービスを開始

西日本シティ銀行は、2020年12月29日、LINEに当行LINE公式アカウント(以下「本アカウント」)を開設し、九州の金融機関として初となるカードローンの受付サービスを開始しました。

本アカウントを登録することで、LINEのトーク画面からカードローンのお申込みや内容確認ができます。

取扱開始日
2020年
12月29日
(火)



お客さま起点の

One to Oneソリューションの提供

西日本FHグループは、ご好評いただいている西日本シティ銀行アプリの機能向上など、より利便性の高いサービスを提供します。

本アカウントの登録方法

LINEアプリで、以下3つのうち、いずれかの方法でご登録いただけます。

登録方法 1

友だち検索から登録

「ホーム」画面の検索窓に「西日本シティ銀行」と入力し、検索して登録



登録方法 2

ID検索から登録

「ホーム」画面の「友だち追加」から「検索(ID)」を選択し、「@ncbank_official」と入力し、検索して登録



登録方法 3

QRコードから登録

「ホーム」画面の「友だち追加」から「QRコード」を選択し、QRコードを読み込んで登録



(注) 本アカウントの友だち登録には、お客さま自身が「LINE」に登録していただく必要があります。

(注) LINEの利用設定は、お客さまの判断をお願いします。

(注) LINEでお申込みいただけるカードローンは「NCBキャッシュエース」です。

金額や利率など商品の詳細は、当行ホームページ(https://714919.jp/loan/cash_ace/)をご確認ください。

©GROOVISIONS

One
to
One
SOLUTION



「スマホの中にも銀行を！」 「西日本シティ銀行アプリ」を全面リニューアル

西日本シティ銀行は、2021年3

月26日、お客さまの更なる利便性向上

にむけ「西日本シティ銀行アプリ」以下

「アプリ」を全面リニューアルしました。

全面リニューアルでは、アプリのトッ

プ画面をより見やすく・より使いやす

くするとともに、定期預金等の残高照

会や振込・振替取引等の金融サービス、

そして、家族口座見守りサービスなど

のアプリならではの新しい機能を追加

し、利便性を向上させました。

当行は、今後も、アプリの金融サービ

スを拡充していくとともに、新たな機

能・サービスの開発を進め、お客さま起

点のOne to Oneソリューション

の提供に取り組んでまいります。



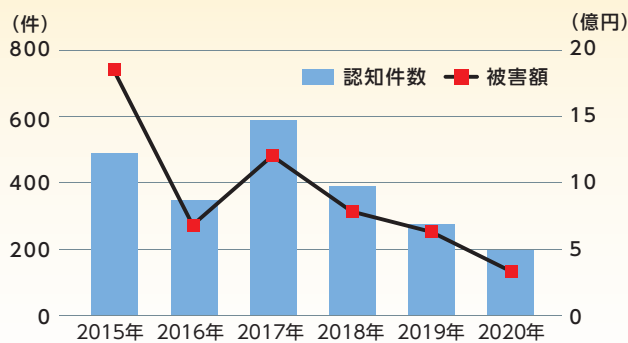
リニューアルの概要

- ① トップ画面のデザインを刷新
- ② アプリで完結できる金融サービスの拡充
○残高・明細照会 ○振込・振替 ○カードローンの借入・返済
- ③ インターネットバンキングとの一体化
- ④ 家族口座見守りサービス（下段をご参照ください）



Google Playまたは
App Storeからダウ
ンロードください。

●ニセ電話詐欺 認知件数と被害額の推移（福岡県警調べ）



想定する利用シーン

高齢の親の口座を見守る
特殊詐欺被害早期発見・抑制

夫婦で家計口座を管理

離れて暮らす子供の口座を管理

出所：オーエン×ぐらんぞ2021年6月号

西日本シティ銀行は、NTTデータと提携し、家族の預金口座取引を見守るサービスを開始しました。例えば、離れて暮らす高齢の親などが振り込め詐欺の被害に遭っていないかどうか、息子や娘が確認したい場合、同行のアプリやインターネットバンキング上で照会できるようになりました。また、親の口座から高額の出金取引が発生した場合、家族にプッシュ通知やメールでお知らせが届くサービスも行い、高齢者の特殊詐欺被害の防止につなげる狙いです。

デジタル技術を駆使して家族をつなげる金融サービスは、九州の地方銀行で初めての取り組みです。

現金引き出したら、メールで通知
「家族口座見守りサービス」スタート



資産の管理から運用まで、 専門家にお任せ

.....
西日本シティ銀行グループの「NCラップ」

「オーダーメイド」の金融サービス ファンドラップ



イラスト：まき りえこ



ご近所の公務員、定年卒男さん(60)が今春、退職されるそうです。
長年のお勤めを終えて、ホッとされているかと思いきや、そうでもないみたい。さて、ご夫婦のお悩みとは…。



「長い間、本当にお疲れ様でした」



「いろいろ苦勞をかけたな。退職を機に2人で海外旅行と思っていたが、今はコロナで無理。さて、退職金の2,000万円どうするかな?」



「当面、預金口座に置いておきましょうよ」



「うん。でも、この低金利だと、このまま預金しておくのもどうかと思う。かと言って、投資なんてやったことないし…」



「私たちの意見をしっかり聞いてくれる専門家がいるといいですね」



「そのお悩み。西日本シティ銀行グループにお任せください。お客さまのご要望にお応えできる金融サービスがございます」



「どんなサービス?」



「西日本シティTT証券が取り扱うNCTTファン
ドラップ(愛称『NCラップ』)をご紹介します」



ファンドラップサービスのご紹介



西日本シティ銀行
新宮支店
宮下 信也さん

ファンドラップ 3つの ポイント



西日本シティ銀行
新宮支店
林 ゆいさん

ポイント
1

お客さま一人ひとりのニーズに合わせた最適な運用モデルをご提案
「ファンドラップ」は、単なる投資商品ではなく、投資一任契約に基づきファンドラップ口座にお預け頂いたお客さまの運用資金を投資一任運用する**トータル資産運用・管理サービス**です。

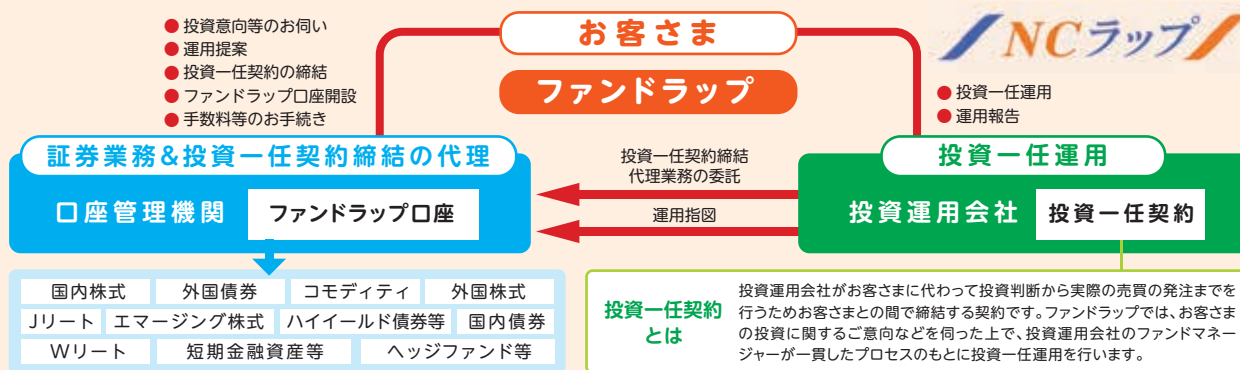
ポイント
2

お客さまに代わって 運用・管理
「ファンドラップ」は、「**お客さまに代わって**」運用のプロである投資運用会社が投資信託を選び組み合わせて運用・管理を行います。

ポイント
3

お客さま一人ひとりにきめこまかいフォロー
「ファンドラップ」は、「**お客さまごとに**」投資に関するご意見などを伺った上で、お客さまのリスク許容度、ニーズに合った運用を提案させていただきます。また、運用結果に関しましては、「**お客さまごとに**」運用報告書を作成しご報告させていただくとともに、きめこまかいフォローアップをさせていただきます。

ファンドラップのしくみ



「すべてお任せか。手数料をがっばり取られるのでは?」



「手数料は税抜きで年1.5%です」



「2,000万円の運用を任せると、年間の手数料は税抜きで30万円にもなるね～」



「大切な老後資金ですから、全額はお勧めしません。資産の何割をファンドラップで運用するのか。お客様のご要望をじっくりとお聞きします。300万円から始められます」



「どんなコースがありますか?」



「安定型、中立的型、積極型、エクステンシブ(超積極型)の4コースがあります。最も人気なのは、手数料差し引き後年利1%程度の運用を目指す『安定型』です」



「安定型か…。1%で運用できたら、少し増やせるね。やってみるか」



「かしこまりました」

△ 下記のご留意事項を必ずご確認ください。

【証券会社紹介サービスのご留意事項】△西日本シティ銀行TT証券へのお客さまのご紹介について・西日本シティ銀行は、グループ会社として、お客さまに西日本シティ銀行TT証券の案内をさせていただき、お客さまのご同意がいたった場合に限り、西日本シティ銀行TT証券へお客さまをご紹介させていただきます。△西日本シティ銀行が西日本シティ銀行TT証券をご案内することは、西日本シティ銀行TT証券を通じてお取引のみを推奨するものではありません。また、後述の同意書ご提出の有無、および、西日本シティ銀行TT証券とのお取引の有無が、お客さまの西日本シティ銀行における他のお取引に影響を与えることはございません。△**お取引をいただく契約先について**・ご紹介させていただきましたお客さまに対しては、西日本シティ銀行TT証券より商品のご説明を差し上げます。ご契約時のお手続きは西日本シティ銀行TT証券が行います。△この場合、契約先は西日本シティ銀行TT証券となり、ご購入いただく商品は、西日本シティ銀行TT証券の取扱商品となります。△西日本シティ銀行TT証券が取扱う金融商品は預金ではありません。また、預金保険の対象ではありません。△**情報の相互提供のご同意について**・西日本シティ銀行と西日本シティ銀行TT証券は、お客さま情報を両社間で共有させていただくことにより、お客さまの資産運用に、よりお役立ていただける提案が可能になると考えております。△そのため、西日本シティ銀行TT証券へお客さまをご紹介する際、西日本シティ銀行ならびに西日本シティ銀行TT証券の両社間でお客さまの情報を共有させていただくことに関する書面「情報の相互提供についての同意書」の事前のご提出をお願いしております。△**別法人であること**・「西日本シティ銀行」と「西日本シティ銀行TT証券」はグループ会社ですが、別法人であり、それぞれが責任を持ち、お客さま対応をいたします。△**商品の詳しいご説明について**・ファンドラップには特有のリスクがございます。リスクを含む詳しいご説明は、西日本シティ銀行TT証券株式会社の担当者よりご案内させていただきます。



コソコがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

商号等：株式会社西日本シティ銀行
登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会



西日本シティTT証券

商号等：西日本シティ銀行TT証券株式会社
金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号
加入協会：日本証券業協会

出所：西日本新聞オーエン2021年冬号より



地域の魅力向上に向けた取組み

西日本FＨグループは、「地域の発展なくして西日本FＨグループの発展なし」の信念のもと
伝統芸能や音楽など、さまざまな地域貢献活動に積極的に取り組めます。

西日本FＨ

西日本シティ銀行

公益財団法人 福岡文化財団

「日本の神様と舞い踊ろう」 地域に根付く 神楽と神舞」を開催

西日本シティ銀行は、2020年11月3日、
公益財団法人福岡文化財団との共催で「日本
の神様と舞い踊ろう」地域に根付く神楽と神
舞」を大濠公園能楽堂で開催しました。

6回目となる今回は、新型コロナウイルス感
染拡大防止の観点から、観客者数の制限・公演
時間の短縮などの対策をとった上で開催しまし
た。会場では、福津市「宮地嶺神社」の浄見宮司
による浮神の秘舞、東峰村「高木神社夜神楽」



「日本の神様と舞い踊ろう」～地域に根付く神楽と神舞～

の微笑ましい
舞、福岡市早良
区「飯場神楽」の
勇ましい舞が披
露され、観客の
皆さまに優雅な
時間と空間をお
届けしました。

西日本FＨ

西日本シティ銀行

公益財団法人 福岡文化財団

「NCB音楽祭2020」 クリスマス 聖夜にベートーヴェンは いかが？」を開催

西日本シティ銀行は、2020年12月
25日、公益財団法人福岡文化財団との
共催で「NCB音楽祭2020」クリスマス
聖夜にベートーヴェンはいかが？」をアクロス
福岡で開催しました。

6回目となる今回の音楽祭は、新型コ
ロナウイルス感染拡大防止の観点から、
市民と行員で結成する「NCBフロイデ
合唱団」による第九の合唱を取りやめ、



「NCB音楽祭2020」～聖夜にベートーヴェンはいかが？～

ベートーヴェン
生誕250周年
にちなんだ名曲
の数々やクリス
マスソングをお
贈りし、年末の
福博の街に音楽
で元気をお届け
しました。

西日本FＨ

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

「第14回 久保田勇夫 新春経済講演会」を開催

西日本シティ銀行は、最新の経済情報を企業経営や
景気見通しの参考にさせていただいたため2008年より
毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催してい
ます。

14回目となる2021年1月29日の講演会は、新型コ
ロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での開催に
加え、スマートフォンやタブ
レットなどWebでも参加でき
る環境を準備しました。



第14回 久保田勇夫 新春経済講演会

久保田会長は、「2021年
の経済・金融の見通し」世界、
日本、そして九州」をテーマ
に、今年の世界経済や日本経
済、地元九州経済の見通しや
留意点などについて詳しく講
演しました。また、2021年
3月には、講演の内容をまと
めた「講演録」を発行し、お取
引先などに配布しました。



「第22回 アジア貢献賞」

「第16回 アジア未来大賞」を表彰

久保田会長が理事長を務める公益財団法人西日本国際財団は、2021年3月2日、「第22回 アジア貢献賞」「第16回 アジア未来大賞※」の受賞者を座席の間隔を十分にとるなど新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで、福岡市内のホテルで表彰しました。

アジア貢献賞およびアジア未来大賞は、九州・沖縄・山口地域において、アジアとの国際交流や国際相互理解、国際友好親善に貢献している団体や個人を年1回表彰しています。「第22回 アジア貢献賞」は2団体と個人、「第16回 アジア未来大賞」は2団体を表彰しました。



アジア未来大賞 受賞の皆さま



アジア貢献賞 受賞の皆さま

※アジアKids大賞から名称変更しました。

第22回「西日本国際財団 アジア貢献賞」受賞者

団体・受賞者	NPO法人国際ボランティアIMAYA(理事長 岩本 功 氏)	砂川 元 氏	日韓障害者交流協会(主宰者・事務局長 貴島 純孝 氏)
活動地域	ベトナム、山口県周南市	ラオス、沖縄県那覇市	韓国、福岡県福岡市
活動分野	医療支援、途上国支援	医療支援、途上国支援	障がい者国際交流
活動内容	26年以上にわたり、ベトナムへの医師派遣など医療支援活動を継続している。ベトナム戦争による肢体不自由者へ車椅子を提供しており、2003年から2019年までに401台を寄贈した。現地の医療人材の育成支援にも取り組んでいる。	琉球大学医学部在任中から20年以上にわたり、ラオスにおける先天性口唇口蓋裂患者に対し、2019年までに延べ363例を無償で手術・治療した。治療技術の現地移転にも取り組んでいる。	1987年からスポーツ・文化を通じた日韓障害者の福祉向上、国際交流などを目的に活動している。中でも1991年に始まった「稲尾杯日韓親善障害者ソフトボール大会」は間もなく30回を迎える。さまざまな分野で、障害者が自ら企画運営する草の根の交流事業を進めている。

第16回「西日本国際財団 アジア未来大賞」受賞者

団体・受賞者	上毛町(上毛町長 坪根 秀介 氏)	長崎親善人形の会(瓊子の会)(会長 山下 昭子 氏)
活動地域	タイ、福岡県築上郡上毛町	カンボジア、長崎県長崎市
活動分野	国際交流	国際親善・交流
活動内容	旧村時代から国際的視野を持った青少年育成を目的に、世界4か国と小学生の交流事業を進めてきた。2015年度からはタイ国の最古の大学であるチュラロンコン大学の附属小学校と、町立4小学校で児童の相互訪問などを進めて、2017年には姉妹校提携協定を結んだ。	「長崎瓊子 ^{※1} の里帰り展」の精神を生かし、国際親善を進めようと、2004年にカンボジアに小学校の建物の新築し、「タマコスクール」と名付けて贈呈した。その後、図書や学用品も贈っている。2007年からは、「キッズゲルニカ ^{※2} 」制作活動にも取り組んでいる。

注1:長崎瓊子とは、1927年、実業家・渋沢栄一と米国の親日家・ギューリック博士により行われた「日米親善人形交流」において、長崎県から米国への答礼として贈られた人形で、長く行方不明でしたが、2000年に米国で発見されました。長崎市民の間で、この人形を地元で展示しようとの気運が高まり、2003年「長崎瓊子の里帰り展」が開催されました。注2:「ゲルニカ」は、ピカソが1937年に製作した反戦の象徴とされる壁画のことで、「キッズゲルニカ」とは、「ゲルニカ」と同サイズ(縦3.5m×横7.8m)のキャンバスに子どもたちが想像する「平和」をテーマとした絵を描く活動であり、1995年に世界各地で開始され、これまでに世界約70か国で展開されました。「長崎親善人形の会」はこの活動に参加しており、「キッズゲルニカ」製作と長崎での展覧会を14年間継続し、製作した壁画は延べ68点を数えます。

第48回

「経営者賞」を表彰

久保田会長が理事長を務める公益財団法人経営者顕彰財団は、2021年4月28日、第48回「経営者賞」の受賞者を新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで、福岡市内のホテルで表彰しました。

経営者顕彰財団は、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を、1973年以来毎年表彰し、今回で計174名の方に「経営者賞」を贈りました。



経営者賞 受賞の皆さま

第48回「経営者賞」受賞者

氏 名	忍田 勉 氏	高木 邦格 氏	中村 高志 氏
企 業 名	株式会社カンサイホールディングス	医療法人社団高邦会グループ	住吉工業株式会社
役 職	代表取締役社長	学校法人国際医療福祉大学 理事長	代表取締役会長
所 在 地	福岡県福岡市博多区東比恵3-32-15	福岡県大川市酒見141-11	山口県下関市長府扇町1-23
事 業 内 容	電気設備資材・住宅設備機器・省エネシステムの総合商社	教育事業、医療事業、福祉事業	総合建設事業(土木工事、建築工事、砕石製造、環境産業等)

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「西日本シティ銀行について」>地域社会貢献活動>公益財団法人 経営者顕彰財団 からご覧になれます。



グループサステナビリティ宣言を制定

西日本FHグループはこれまで、「地域の発展なくして西日本FHグループの発展なし」との信念のもと、創業支援や環境関連融資等の本業を通じた地域課題の解決に加え、さまざまな地域貢献活動にも積極的に取り組んできました。中期経営計画「飛翔2023～地域の元気を創造する～」においても「SDGs重点項目」を掲げ、持続可能な社会の実現への貢献を経営戦略上の重要事項と位置付け推進しています。

2021年4月、西日本FHグループのESG/SDGsへの取組方針を「グループサステナビリティ宣言」として明文化しました。西日本FHグループは今後一層、ESG/SDGsへの取組みの強化を図ってまいります。

グループ経営理念

私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します。

グループサステナビリティ宣言

私たち西日本フィナンシャルホールディングスグループは、グループ経営理念に基づき、地域の発展とグループ企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

西日本FHグループ「SDGs重点項目」



「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言」への賛同

西日本FHグループはこれまで、2009年に子会社の西日本シティ銀行に専門部署「環境室」(現在は西日本FH「SDGs推進室」へ発展的に改組)を設置し、環境に配慮した店舗への建替えや「環境私募債」の引受け等、さまざまな環境関連施策に積極的に取り組んできました。

近年、世界各国で異常気象により甚大な被害が頻発しています。地元九州・福岡においても2017年7月九州北部豪雨、2020年7月豪雨と大きな災害が発生しており、気候変動への対策は地域にとって大きな課題となっています。西日本FHグループでは、「SDGs重点項目」の1つに「13. 気候変動に具体的な対策を」を掲げ、注力分野と位置付けています。

西日本FHグループは、TCFD提言※に賛同し、同提言に沿った態勢整備や情報開示と併せて、お客さまの気候変動問題への取組みを支援していきます。

※TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)提言
金融安定理事会(FSB)により設置されたTCFDが2017年6月に公表した提言。企業等に対し、気候変動の「リスク」と「機会」がもたらす影響等について、投資家をはじめとするステークホルダーに開示することを推奨しています。

西日本FHグループは、地域金融グループならではのESG(環境・社会・ガバナンス)／SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを推進しています。





「発想塾」立上げの記者会見
高田副頭取(左)・江崎社長(右)

「SDGsに
ついて知りた
い・社内に浸透
させたい」など
の課題をお持ち
の企業や事業
者さまのお問い
合わせをお待ち
しております。

西日本シティ銀行は、株式会社九州博報堂と業務提携し、オリジナルのカードゲーム(企業版「街・1カード」)を活用した「SDGs事業アイデア発想塾」(以下「発想塾」)の立上げに関する記者会見を2021年3月26日に行いました。

発想塾は、SDGsや地方創生に資するビジネスアイデア創出や社会課題解決への貢献を目指す企業を、地域金融機関と広告会社が協働してサポートするワークショップ型のコンサルティングで、参加企業の社員に「社会に良いこと」・「自社の収益につながるアイデアの発想」を行う場を提供します。

西日本シティ銀行×九州博報堂 「カードゲームで知る・考える」 「SDGs事業アイデア発想塾」をスタート

西日本シティ銀行



●オリジナルカードゲーム(企業版「街・1カード」)について

3種のカードを組み合わせ アイデアを発想

※約60種のカードから3種を組み合わせます

①アイデアを実現する舞台を示す「場所カード」、②アイデアを実現する中心となるプレーヤーを示す「人カード」、③社会課題を解決するためのヒントとなる「モノ(コト)カード」という異なるテーマの3つのカードを組み合わせ、アイデアを考えます。

例) ①場所カード ②人カード ③モノ(コト)カード



[お問い合わせ先] 株式会社西日本シティ銀行 広報文化部 TEL092-461-1869
株式会社九州博報堂 第二ビジネスデザイン局 TEL092-711-3159



<ワンのSDGsプロジェクトVol.1>
大國段ボール工業株式会社が製造・販売する
「ワンの段ボールオブジェ」

西日本シティ銀行は、キャラクター「ワンク」の知的財産権をグッズ等の製造販売業者が使うことを許諾し、製造販売業者のWebサイトや店舗でオリジナルの「ワンクグッズ」を購入できるスキームを構築しました。

2021年4月から「ワンクのSDGsプロジェクト」として、西日本シティ銀行が得る「ワンク」の使用許諾料をSDGsへの取組みとして社会福祉団体等に寄付します。ワンクグッズの製造・販売にご協力いただく企業さま、ご購入いただく皆さまと一緒に「ワンク」が生みだす社会貢献の輪を広げてまいります。

「ワンクグッズで社会に貢献しよう」 「ワンクのSDGsプロジェクト」をスタート

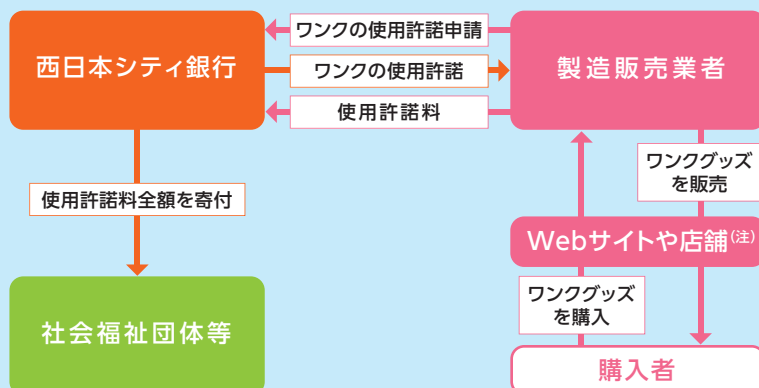
西日本シティ銀行



「ワンのSDGsプロジェクト」
の最新情報は
下記のQRコードから
ご確認ください



●「ワンのSDGsプロジェクト」スキーム図



(注) 西日本シティ銀行の営業店ではございません。

※寄付金は、商品1個あたり200円または販売価格の5%のいずれか低い額とさせていただきます。

「ワンクぬりえコンテスト2020」を開催

西日本シティ銀行は、11月1日の「犬の日」にちなんだ企画として、イメージキャラクター「ワンク」を題材として、「ワンクぬりえコンテスト2020」を福岡と長崎で開催し、福岡は5,031点、長崎は2,563点の応募作品の中から受賞作品を決定しました。「西日本シティ銀行 頭取賞」に輝いた作品は、西日本シティ銀行のPR用品の1つとして、クリアファイルにデザインし、2021年秋からお客さまに配布します。

また、「長崎銀行 頭取賞」、「西日本シティ銀行 長崎支店長賞」の2作品は、長崎電気軌道株式会社が運行する路面電車の「ラッピング電車」となって、2021年5月から、長崎の街を走行しています。

福岡地区

グランプリ 最優秀賞		優秀作品賞	
西日本シティ銀行 頭取賞		金賞	銀賞
西日本シティ銀行 頭取特別賞		銅賞	ブルーヴィジョンズ賞
			

長崎地区

グランプリ 最優秀賞			
長崎銀行 頭取賞		西日本シティ銀行 長崎支店長賞	
優秀作品賞			
長崎新聞社賞	西日本F.H.賞	ブルーヴィジョンズ賞	
			

ブルーヴィジョンズは「ワンク」の生みの親で、グラフィックやモーショングラフィックを中心に音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッション、ウェブなど多様な領域で活動するデザイン集団です。

©GROOVISIONS

代表取締役の異動に関する記者会見を開催

2021年2月25日、西日本シティ銀行 本店別館3階大会議室で西日本フィナンシャルホールディングスおよび西日本シティ銀行の代表取締役の異動に関する記者会見を開催しました。



村上新社長



久保田会長(左) 村上新社長(中央) 谷川新副会長(右)

安心に向けた 取組み

西日本シティ銀行及び長崎銀行では、インターネットバンキングを利用した不正送金や、二重電話詐欺（振り込め詐欺）等の金融犯罪の被害未然防止に向けた取組みを行っています。

インターネットバンキングのセキュリティ強化に向けた取組み

西日本シティ銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行うなどの対策に取り組んでいます。

特に、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」のご利用を強くお勧めしており、スマートフォンをお持ちのお客さまにはアプリ（ソフトウェア）を、お持ちでないお客さまにはキーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）（ハードトークン）をご提



ソフトウェア

ハードトークン

供しています。なお、2021年より、振込等のお取引については、ワンタイムパスワードのご利用を必須としています。

NCBビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）

においては、ソフトウェアやハードトークンで利用可能な「ワンタイムパスワード」を必須としているのに加え、利用登録したパソコン以外から接続できない仕組みとしております。

長崎銀行のシステム対策例

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、「ワンタイムパスワード」または、「メール通知パスワード」を導入し、どちらかを必ずご利用いただくことで、安全性の向上を図っております。

ながさきビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）

には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入しています。加えて、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）を必ずご利用いただいています。

お客さまご利用のパソコンへの対策

西日本シティ銀行及び長崎銀行のホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、ウィ

ルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する「不正送金対策ソフト」を、無料でご提供しています。

二重電話詐欺

（振り込め詐欺）などの被害未然防止に向けた取組み

携帯電話をしながら、ATMをご利用のお客さまや、窓口で出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声かけをさせていただくことがございますので、何卒ご理解のほどお願いします。また、私も職員や警察官が電話や店舗外で、暗証番号や口座番号や残高を尋ねたり、ATMの操作を直接電話で依頼することはありませんのでご注意ください。

障がいのあるお客さまに配慮した取組み

全ての営業店に1台以上、店舗外ATMコーナーとあわせて、西日本シティ銀行は合計868台、長崎銀行は合計44台の視覚障がい者対応ATMを設置しています（2021年3月末現在）。また、代筆・代読のご対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

西日本シティ銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

※営業時間外（平日夜間・休日）の場合はATMセンター宛にご連絡ください。
フリーダイヤル:0120-252-557

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

◎信託協会 信託相談所

0120-817335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

長崎銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL.095-829-4100 または **FAX.095-821-3185**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎長崎銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL.095-816-2211

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びながさきローンプラザにおいてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

TEL.095-828-0558

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

損益の状況

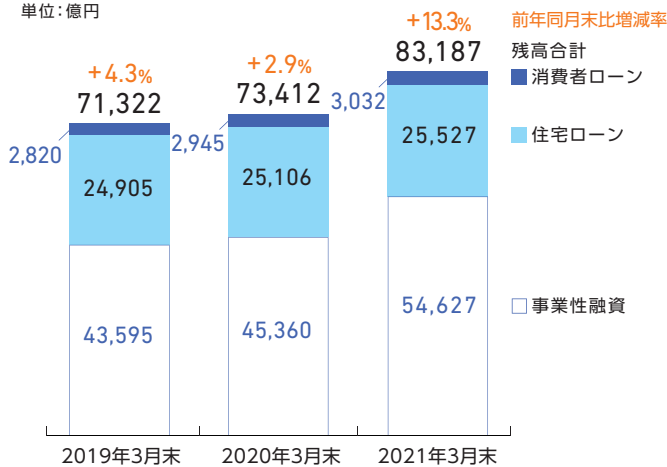
西日本F H 連結				西日本シティ銀行単体				長崎銀行単体			
単位:百万円				単位:百万円				単位:百万円			
	2021/3期 通期	前期比	2020/3期 通期	2021/3期 通期	前期比	2020/3期 通期	2021/3期 通期	前期比	2020/3期 通期	2021/3期 通期	前期比
経常収益	134,949	△6,749	141,698	119,626	△6,316	125,942	4,711	△36	4,747	4,711	△36
業務粗利益	116,032	798	115,234	97,424	595	96,829	3,490	147	3,343	3,490	147
資金利益	92,026	751	91,275	86,255	953	85,302	3,851	32	3,819	3,851	32
役務取引等利益	19,046	△1,218	20,264	8,413	△924	9,337	△359	117	△476	△359	117
特定取引利益	1,842	460	1,382	△4	△5	1	-	-	-	-	-
その他業務利益	3,117	807	2,310	2,759	571	2,188	△0	△0	0	△0	△0
[うち国債等債券損益]	[2,751]	[172]	[2,579]	[2,752]	[△18]	[2,770]	[△0]	[△0]	[0]	[△0]	[△0]
経費	△78,603	△1,876	80,479	△66,758	△1,234	67,992	△3,296	△88	3,384	△3,296	△88
実質業務純益	37,429	2,675	34,754	30,665	1,828	28,837	193	234	△41	193	234
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)				28,648	3,887	24,761	194	235	△41	194	235
株式等関係損益	1,946	△259	2,205	1,946	210	1,736	-	-	-	-	-
信用コスト	△9,452	3,007	6,445	△8,400	3,132	5,268	8	79	△71	8	79
その他臨時損益	△3,160	△1,363	△1,797	△3,158	△1,314	△1,844	△70	△174	104	△70	△174
経常利益	26,763	△1,953	28,716	21,053	△2,407	23,460	114	△19	133	114	△19
特別損益	△864	△1,295	431	△830	△1,710	880	10	39	△29	10	39
法人税等	△7,272	△1,499	8,771	△5,384	△1,560	6,944	45	△5	50	45	△5
非支配株主に帰属する当期純利益	△537	383	154								
当期純利益(連結は親会社株主帰属分)	18,088	△2,134	20,222	14,838	△2,557	17,395	79	25	54	79	25

貸出金の残高

西日本シティ銀行単体

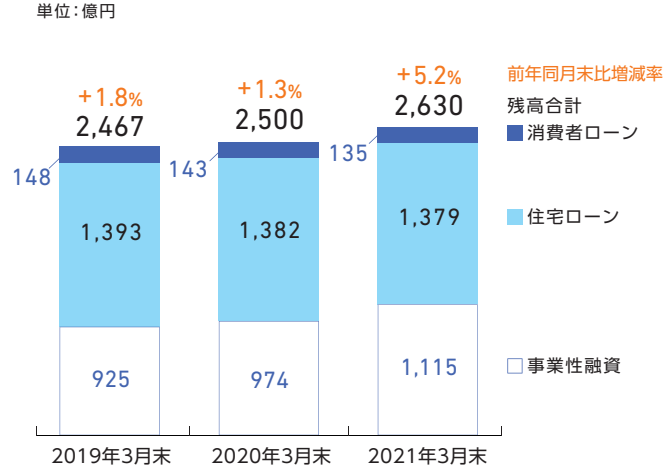
※政府向け貸出金含む

単位:億円



長崎銀行単体

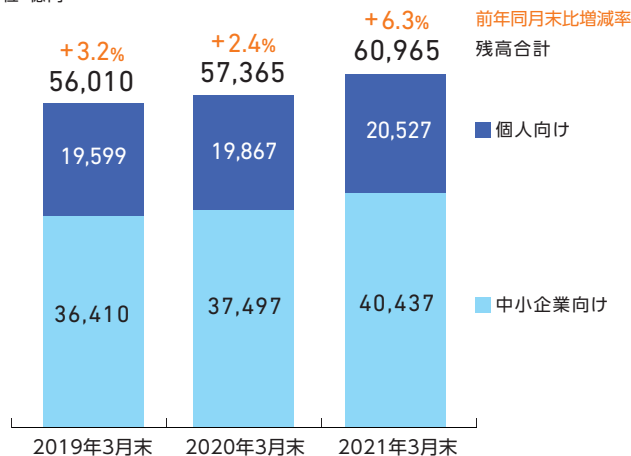
単位:億円



中小企業等貸出金の残高

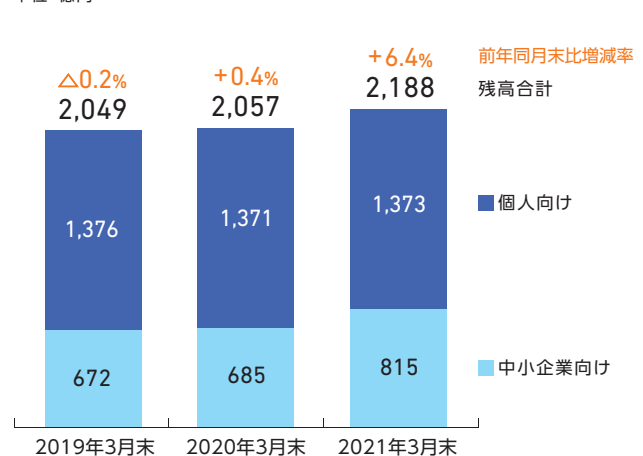
西日本シティ銀行単体

単位:億円



長崎銀行単体

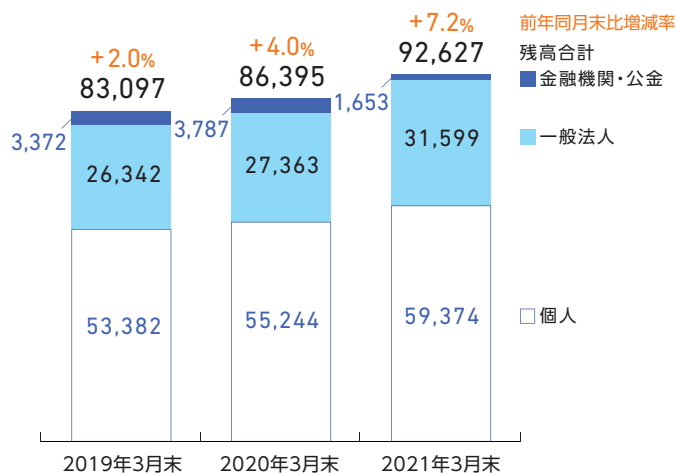
単位:億円



預金・譲渡性預金の残高

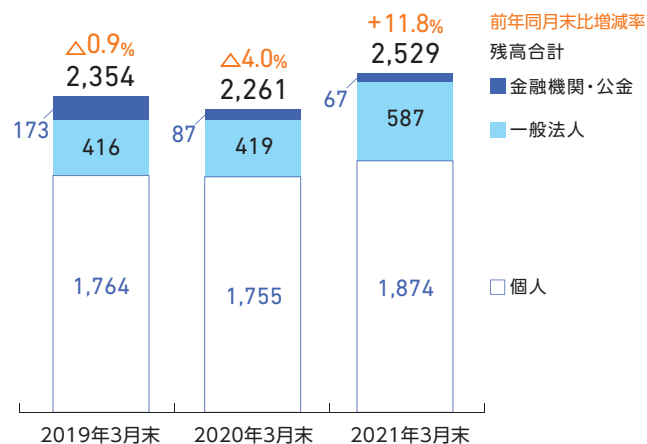
西日本シティ銀行単体

単位：億円



長崎銀行単体

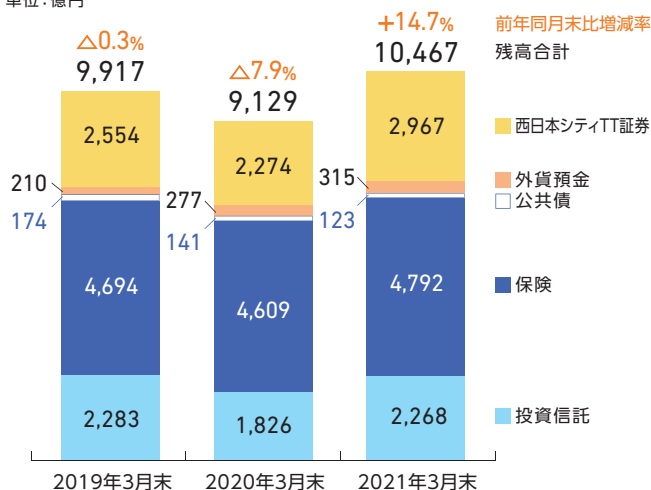
単位：億円



預り資産の残高

グループ合算 (西日本シティ銀行+長崎銀行+西日本シティTT証券)

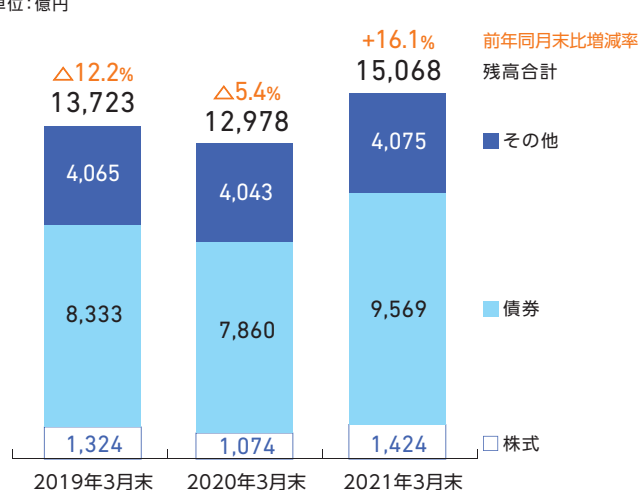
単位：億円



有価証券の残高

西日本 F H 連結

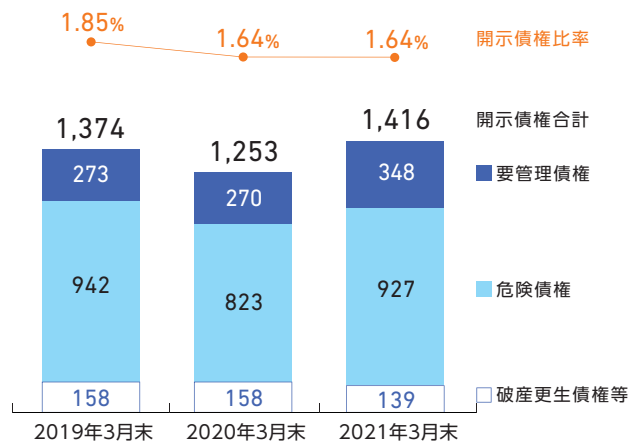
単位：億円



金融再生法開示債権

2行合算 (西日本シティ銀行+長崎銀行)

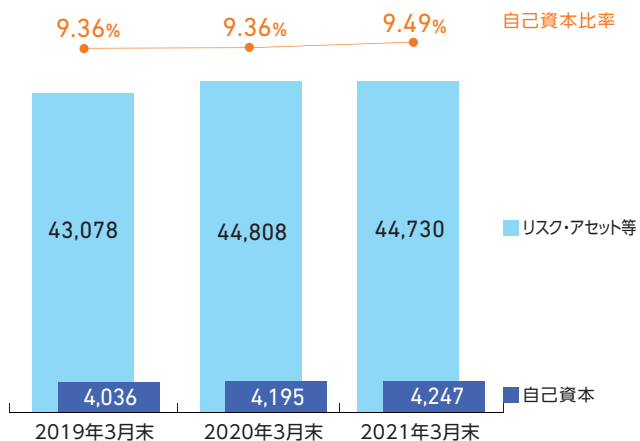
単位：億円



自己資本比率

西日本 F H 連結

単位：億円



(注) リスク・アセット等の算出において次の手法を採用しています。
信用リスク・アセット額…基礎的的内部格付手法
オペレーショナル・リスク相当額…粗利益配分手法

プロフィール

●株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス

設立日	2016年10月3日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 村上 英之		
事業内容	銀行持株会社		
資本金	500億円	上場証券取引所	東京証券取引所及び福岡証券取引所
決算期	3月31日	単元株式数	100株

グループ会社の概要

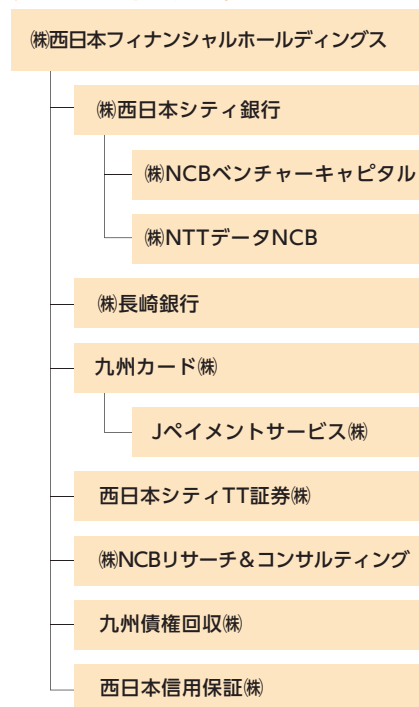
●株式会社 西日本シティ銀行

設立日	1944年12月1日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 村上 英之		
事業内容	銀行業		
店舗数	175か店		
従業員数	3,584名		
総資産	11兆7,894億円		
資本金	857億円		
総預金	9兆2,627億円		
総貸出金	8兆3,187億円		
預り資産残高	7,040億円		

●株式会社 長崎銀行

設立日	1912年11月11日		
本店所在地	長崎市栄町3番14号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 開地 龍太郎		
事業内容	銀行業		
店舗数	23か店		
従業員数	207名		
総資産	3,156億円		
資本金	61億円		
総預金	2,529億円		
総貸出金	2,630億円		
預り資産残高	459億円		

グループストラクチャー



●九州カード 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 川本 惣一		
事業内容	クレジットカード業・信用保証業		
総資産	442億円		
資本金	1億円		
会員数	912千人	加盟店数	55千店
カード取扱高	3,631億円	保証残高	875億円

●西日本シティTT証券 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目3番6号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 定野 敏彦		
事業内容	金融商品取引業		
拠点数	16拠点(3サテライトブースを含む)		
総資産	170億円		
資本金	30億円		
預り資産残高	2,968億円		

●株式会社 NCBリサーチ&コンサルティング

本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 廣田 眞弥		
事業内容	調査研究業・経営相談業・有料職業紹介業		
総資産	7億円		
資本金	0.2億円		
会員数	5千社		

●九州債権回収 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前二丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 北崎 道治		
事業内容	債権管理回収業		
総資産	26億円		
資本金	5億円		

●西日本信用保証 株式会社

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之		
事業内容	信用保証業		
総資産	171億円		
資本金	0.5億円		
保証残高	1兆2,699億円		

●株式会社 NCBベンチャーキャピタル

本店所在地	福岡市中央区天神二丁目5番28号		
代表者	代表取締役 井上 一成		
事業内容	投資事業組合財産の運用・管理業		
資本金	0.3億円		

※株式会社NCBベンチャーキャピタルは、2020年5月29日設立

●Jペイメントサービス 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 大原 雅彦		
事業内容	決済代行業		
総資産	30億円		
資本金	1億円		

●株式会社 NTTデータNCB

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 三浦 弘二		
事業内容	情報システムサービス業		
総資産	37億円		
資本金	0.5億円		

※本店所在地・代表者は2021年6月末時点です。

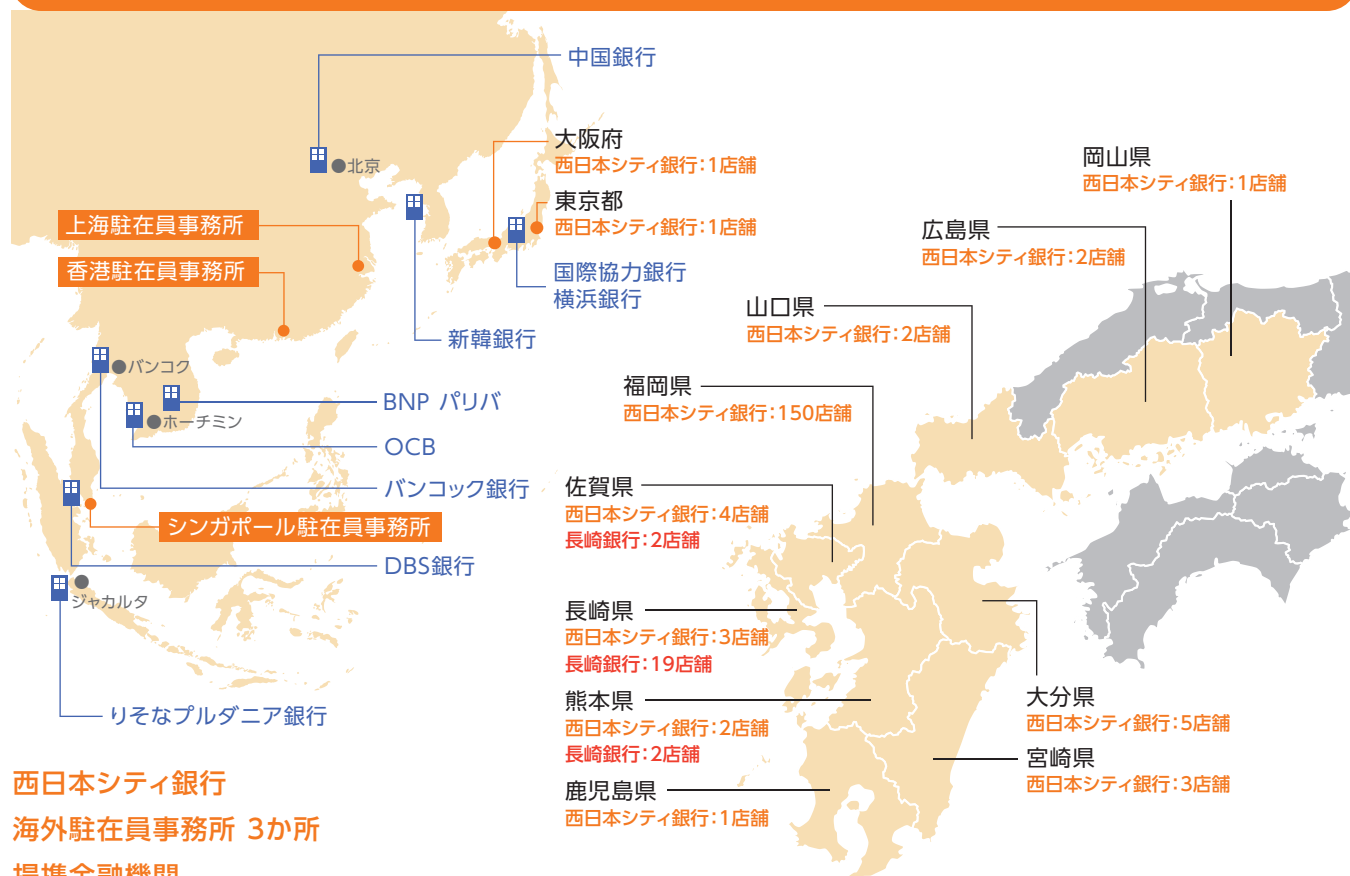
※事業内容は2021年3月末時点です。

※各種係数は2021年3月末時点の単体係数です。

※株式会社NCBベンチャーキャピタル及びJペイメントサービス株式会社は、持分法非適用の非連結子会社です。

※株式会社NTTデータNCBは、持分法適用関連会社です。

ネットワーク



西日本シティ銀行

海外駐在員事務所 3か所

提携金融機関

りそなプルダニア銀行(インドネシア) 1996年提携
中国銀行(中国) 2001年提携
国際協力銀行(日本) 2001年提携
新韓銀行(韓国) 2007年提携
OCB(ベトナム) 2008年提携
BNPパリバ(ベトナム) 2008年提携
バンコック銀行(タイ) 2009年提携
横浜銀行(日本) 2016年提携
DBS銀行(シンガポール) 2017年提携

西日本シティ銀行 175店舗 ATM 1,073台

店舗内/589台 店舗外/484台
※コンビニATM除く

西日本シティTT証券 16拠点

福岡県/10店舗・3サテライトブース
宮崎県/1店舗 熊本県/1店舗 鹿児島県/1店舗

長崎銀行 23店舗 ATM 44台

店舗内/29台 店舗外/15台
※コンビニATM除く

(2021年3月現在)

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。
- 定時株主総会 6月に開催します。
- 配当金の
お支払いについて 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
配当金のお受取りには、預金口座への振込をご利用いただきますと、速くて便利です。当社グループ会社の西日本シティ銀行・長崎銀行を是非ご利用ください。
- 基準日 定時株主総会については3月31日とします。その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
- 公告方法 電子公告による公告とし、当社ホームページ(<https://www.nnfh.co.jp>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載します。
- 株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
TEL 092-741-0284
(2) お問い合わせ先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)
- ご注意 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※本誌に関する計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

2021年7月発行

株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ

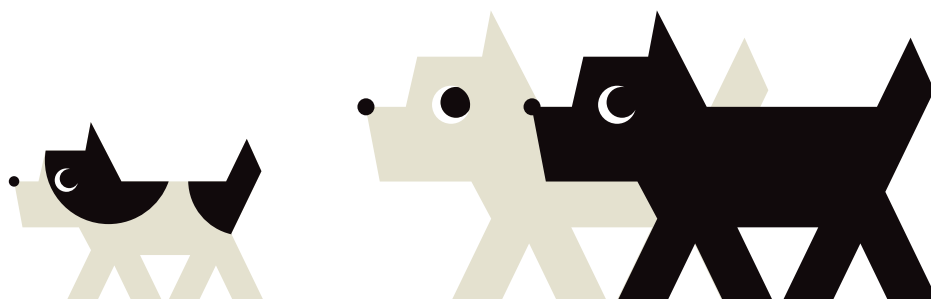
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号

TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <https://www.nnfh.co.jp>



西日本フィナンシャルホールディングス

<https://www.nnfh.co.jp/>



©GROOVISIONS

西日本シティ銀行ソーシャルメディア公式アカウント



@ncbankofficial



@ncbank_official



本誌は、「木になる紙」及び植物油インキを使用しています。「木になる紙」は、地元九州・福岡の森林整備に資する間伐材を原料としています。